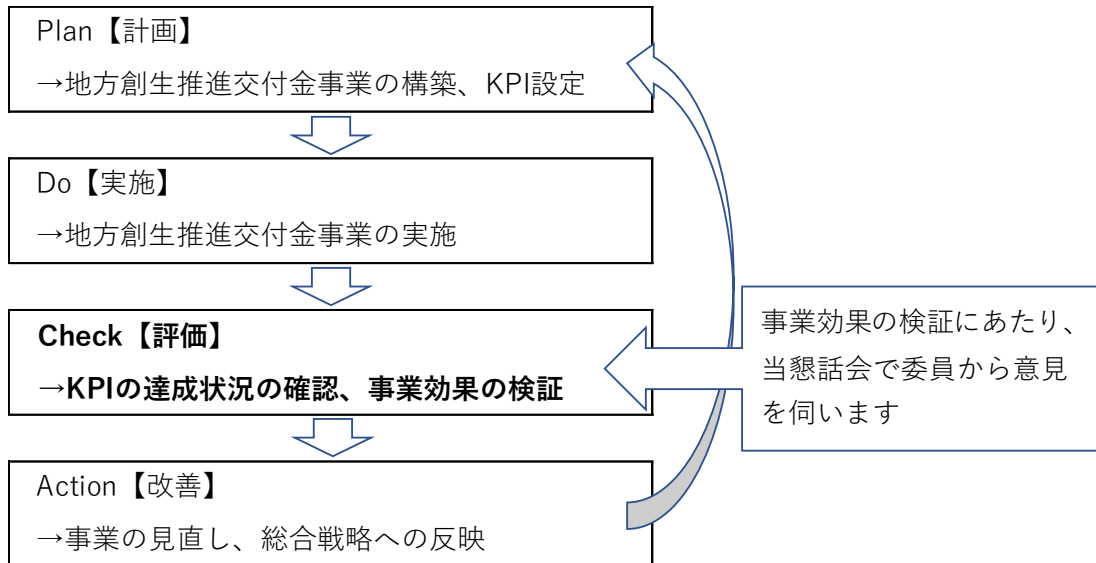


地方創生推進交付金事業の効果検証について

まち・ひと・しごと創生を実現するため、地方創生推進交付金制度を活用し、事業の構築(Plan)～実施(Do)を進めていますが、今後の施策推進をより効果的に展開するには、PDCA サイクルの構築が必要となります。

本市では、『長浜市政「挑戦と創造」の懇話会』を地方創生推進交付金事業の外部検証機関として位置づけ、長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略、地方創生交付金事業の効果検証にあたり、ご意見をいただきます



地方創生推進交付金制度要綱【抜粋】

第11 効果の検証

交付金の交付を受けようとする地方公共団体は、事業の実施状況に関する客観的な指標(以下「重要業績評価指標」という。)を設定の上、その達成状況について、原則、毎年度検証するよう努めるものとする。

地方版総合戦略策定のための手引き【抜粋】

7-1 PDCA サイクル

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省の上に立ち、PDCA サイクルを確立することが必要です。具体的には、まず、効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、4(数値目標・重要業績評価指標(KPI))で設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のプロセスを実行していくこととなります。

7-4 外部有識者の参画

総合戦略の効果検証に際しては、その妥当性・客観性を担保すると同時に、検証を踏まえた事業の見直しの効果を高めるため、行政の中だけで行うのではなく、2-2(住民・産官学金労言士等の参画と推進組織)で述べた推進組織等を活用して、外部有識者等の参画を得ることが重要です。

長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート(令和元年度)

事業名	クリエイティブ人材による新たな森林ビジネスの創出		事業タイプ	横展開タイプ
事業始期	平成29年度	事業終期	令和元年度	
担当課・室	市民活躍課、農林政策課、森林田園整備課			

総合戦略 における 位置づけ	基本目標	産業振興により「活力あるまち」を創造する			
		地域資源を生かし「魅了するまち」を創造する			
	基本的方向	地域資源を生かした産業振興と創業支援、足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化			
		「移住・定住」と「U・J・ターン」の促進			
	基本目標・ 基本的方向 の数値目標	指標	現状値	目標値	実績値
起業者数		12人(H26年度)	累計72人(R元年度)	累計89人(R元年度)	
移住件数		0件(H26年度)	累計45件(R元年度)	累計88件(R元年度)	
	新規自伐林家の数	0人(H26年度)	累計10人以上(R元年度)	累計3人(R元年度)	

交付金 事業の 概要	<p>長浜市の産業の「未来の仕掛け人」となるクリエイティブ人材の移住促進をはかり、豊富な森林資源を活かし、新たな森林ビジネスの創出をはかる。</p> <p>■クリエイティブ人材の移住促進 24,252,634円</p> <p>1. 移住定住促進事業(移住相談窓口の設置、空き家バンクの運営、集落への移住促進等)</p> <p>■新たな森林ビジネスの創出 10,945,000円</p> <p>1. 山林資源クリエイティブ人材養成プログラム推進事業</p> <p>2. 林業6次産業化に向けた商品開発と地域商社機能整備事業</p> <p>3. 森林情報バンク機能の構築及び森の担い手づくり推進事業</p>				
	金額(千円)	総事業費(対象外含)	交付決定額	交付実績額	
		35,198	8,829	7,442	
		重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	実績値
		クリエイティブ人材の移住による経済波及効果	0千円(平成29年度)	40,575千円	43,280千円
		森林・林業起業者数(ビジネスキーマンの獲得)	0名(平成29年度)	3名(各年1名)	5名
		林業地域林業所得の向上	0千円(平成29年度)	75,000千円	12,156千円

課題・ 今後の 方向性	<p>林業所得向上を図るため、地域内での経済循環を創出する地域商社機能の創出に引き続き取り組む。地域商社の実施主体となり得る組織体の存在が確認できていないことから、地域商社の各機能を担える組織体・事業者を選び出し、連携により地域商社機能の創出を図る。対象となる組織・事業者と意見交換を行いながら、ベーシックインカムとなり得るビジネスモデルの確立も含め、他地域の模倣ではない本市地域内で実現可能な地域商社の形態を模索する。</p>
-------------------	--

長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート(令和元年度)

事業名	「戦国・琵琶湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト		事業タイプ	横展開タイプ
事業始期	令和元年度	事業終期	令和3年度	
担当課・室	総合政策課、観光振興課			

総合戦略 における 位置づけ	基本目標	地域資源を生かし「魅了するまち」を創造する			
	基本的方向	地域資源を生かした都市ブランド力の強化と観光振興			
	基本目標・ 基本的方向 の数値目標	指標	現状値	目標値	実績値
		宿泊者数	425,000人(H25-26年度平均)	440,000人(R元年度)	402,200人(R元年度)
		宿泊者数(外国人)	26,564人(H25-26年度平均)	40,000人(R元年度)	27,224人(R元年度)
日帰り者数(外国人)	7,259人(H25-26年度平均)	10,000人(R元年度)	13,829人(R元年度)		

交付金 事業の 概要	<p>■戦国を生き抜いた観音信仰と祈りの文化の情報発信と誘客促進</p> <p>1. 東京都台東区との都市連携協定に基づく歴史文化等の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びわ湖長浜KANNON HOUSE」や台東区アンテナショップを中心とした地域の魅力発信 ・市学芸員や民間ボランティアガイド協会によるギャラリートークやミニ講演会等の実施 <p>2. 現地へのツアーやイベント等の誘客・参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやDMIによる情報提供 <p>■戦国の聖地・長浜PRとインバウンド対応に向けた受入整備とプロモーション</p> <p>1. 外国人観光客を対象にしたホスピタリティ及びプロモーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語ボランティアガイドの育成、体験観光メニューの開発、カルチャーカード等の作成 ・ファミトリップの実施やSNSを通じた情報発信、商談会への参加 				
	金額(千円)	総事業費(対象外含)	交付決定額	交付実績額	
		16,724	7,452	7,205	
	重要業績評価指標(KPI)		現状値	目標値	実績値
	戦国にまつわる観光施設の観光入込客数(県域)		171万人	176.5万人	180万人
	観光消費額(県域)		1,793億円	1,957億円	2,039億円
延べ宿泊者数(県域)		387万人	440万人	408.2万人	

課題・ 今後の 方向性	地元受入体制を整えるため、地域おこし協力隊として活動している観音ガールとの連携や、地元関係者との連携会議の設立に向けた協議を進めた(R2年4月に設立)。今後、高齢化・過疎化による後継者不足や観音堂の老朽化に対応できる誘客促進、ファンづくりを進める。インバウンド対応については、コロナ禍において厳しい状況であるが、アフターコロナに向けたインバウンド獲得に向け、地域限定の有償通訳観光ガイドの養成を行う。
-------------------	--